

花巻市が「移住・定住事例集 しあわせな移住」に 特色ある移住定住対策を行っている自治体として選定されました。

総務省東北管区行政評価局がまとめた「移住・定住事例集 しあわせな移住」に、花巻市の2つの取り組みが選定され掲載されました。この事例集は、東北6県の推薦をもとに、特色ある移住定住対策を行っている自治体を選定した事例集です。

掲載された花巻市の取り組み

花巻市は、「しりたい情報十分に」「参考事例 関係人口」の2つの項目で事例として取り上げられています。

《移住支援相談員による利用者目線の発想を取り入れた移住者希望支援》：「知りたい情報十分に」

平成27年度より、移住希望者と施策担当課の橋渡し役として任用している移住支援相談員の活動について取り上げられました。

評価された内容は以下のとおり

- 移住支援制度について、移住支援相談員による利用者目線の意見を反映
- 空き家バンク内に物件の絞り込み検索機能を追加し、利便性を図っている
- 市の所有するタブレット端末において、登録物件の位置情報等がGoogleマップ上でわかるようにし説明
- 従前居住地との生活環境の違いを考慮した移住アドバイス

《後継者不足に悩むブドウ農家へのボランティア派遣等を通じた関係人口の創出》：「参考事例」

大迫地域で活動した地域おこし協力隊が行ったボランティア組織の活動やブドウ栽培を通じた関係人口の創出について取り上げられました。

評価された内容は以下のとおり

- 地域おこし協力隊員が、地域のブドウ農家の聞き取り調査を実施。
- ブドウ農家を栽培支援を行うボランティア団体として「ブドウづくり隊」を結成。
- 大学のゼミ活動や中学校の修学旅行の一環として、ブドウ農家へのボランティア派遣やインターシップの実施

総務省東北管区行政評価局「移住・定住事例集 しあわせな移住」について

総務省東北管区行政評価局は、地方における人口減少に歯止めをかけるための効果的な移住・定住対策を促進するため、東北6県から推薦された16自治体を対象に令和2年2月から7月にかけて移住・対策の実施状況調査を行いました。

その結果、施策の改善につなげるため、他市町村の施策や移住者の意見を知りたいとの要望から、東北地方の市町村が移住・定住施策を実施する上で参考になると考えられる取り組みを「移住・定住事例集 しあわせな移住」として取りまとめ、東北6県及び東北地方の全市町村に対して配布される事例集です。

◆収録自治体県別内訳：青森県1、岩手県2（花巻市・陸前高田市）宮城県2、秋田県3、山形県3、福島県3

※総務省東北管区行政評価局 掲載アドレス https://www.soumu.go.jp/main_content/000703316.pdf

「移住・定住事例集 しあわせな移住」

「移住・定住事例集 しあわせな移住」では、市町村が行っている移住・定住の取り組み事例を「しあわせな移住」として以下の4つに分類しています。

「し」りたい情報を十分に

移住希望者は、住まい・仕事・子育て環境等様々な情報を求めているための確かな情報発信が必要です。

「あ」いしょうどうかな

移住希望者が移住に失敗しないよう、移住体験・先輩移住者との交流等、移住の具体的なイメージをつかめるような仕組みが必要です。

「わ」れっとの心配少なく

引っ越し費用等、移住には金銭的な負担を伴うため、この負担を軽減するような取り組みがあると移住が決めやすくなります。

「せ」わやくさんと仲良く

移住後も様々な悩みを抱えることもあるため、地域になじめるよう、定住に向けて移住後のアフターフォローが重要です。